



# のぼりべつ 社協 だより

noboribetsu shakyo



## 特集

### できることから一歩ずつ 動き始めた地域の福祉活動

サロンさくら会の活動の様子です。  
感染予防に気を付けながら、身体を動かし楽しく交流しています。

## CONTENTS

- P 2 特集 できることから一歩ずつ 動き始めた地域の福祉活動
- P 4 歳末たすけあい募金にご協力ください
- P 6 チャリティードライブインシアターを開催しました  
生活福祉資金特例貸付 期間が延長になりました  
寄付者のご紹介
- P 7 地域拠点丸ごと支え合い事業実施中、きずなのまちびと
- P 8 ふくし活動アイデア帳 新シリーズ発行  
出前福祉講座をご活用ください



2020  
11.01 No. 148

[発行] 社会福祉法人 登別市社会福祉協議会  
[事務局] 登別市片倉町6-9-1 登別市総合福祉センターしんた21内  
[TEL] 0143-88-0860  
[FAX] 0143-88-4546  
[mail] info@kizuna-shakyo.jp  
[HP] <http://kizuna-shakyo.jp/>  
[Facebook] <https://www.facebook.com/kizunashakyo/>



この社協だよりの発行は、赤い羽根共同募金の支援を受けています

# 特集

## できることから一歩ずつ

# 動き始めた地域の福祉活動

新型コロナウイルス感染症と隣り合わせの日々も、新しい日常の形として定着しつつあります。しかし、できないことばかりではなく、今できることから取り組む福祉活動実践者が増えています。今回の特集では、そんな地域の福祉活動の中から町内会活動の様子をお伝えします。

### ◆また笑い合える日を楽しみに、今できることから 中央東町内会

福祉厚生部、生活安全部の皆さん  
これまで月に1回行っていたふれあい・いきいきサロンは3月から休止しており、町内会行事も今年度はすべて中止となりました。しかし、親密な町内会の特性とこれまで築いてきた関係性もあり、顔を合わせる機会が減っても地域の状況を把握できていることは良さだと感じます。

冬場以外、朝6時過ぎから1時間弱、近くのグラウンドを歩く町内会の「ノルディックウォーキング愛好会」の活動は、貴重な情報交換の場でもあります。サロンよりも気軽に参加してもらいたいとの想いで数年前に立ち上げましたが、屋外活動として現在の状況下でも役立ちました。

社協事業の「まごころお届けプロジェクト」にお届けプロジェクトに



▲コロナ禍以前のサロン活動の集合写真

も参加し、月に2回福祉部で手分けして近隣の高齢者宅へレターを届けに訪問しています。これまでサロンに参加していた高齢者の他、あまり関わりを持てずにいた世帯へも取り組みをきっかけに訪問ができ、短い時間でも顔を見て近況を確認し合う中で、サロン再開を待ち望む声も聞かれました。

役員である私達自身も、毎年恒例の町内会行事等が実施できないことを大変寂しく思っています。まだ先の見通しがなかなか立たない状況ですが、早くまたサロン活動や地域の行事を行える日を心待ちに、その時にはこれまで以上にみんなで楽しめるものになりたいと思います。

### ◆会えなくてもつながりと共有を大切に 旭ヶ丘町内会

会長 長 関 國男さん  
福祉部長 加藤千鶴子さん  
これまで月に1回福祉部で行っていた高齢者世帯への訪問見守り活動を、4〜6月の間は電話連絡に切り替え実施しました。顔を合わせることは難しい時期でも、できる形で引き続きやろうとの気持ちからでした。福祉部員で手分けして電話連絡をすると、普段より会話が弾むこともありました。話す中でそれぞれの部員が把握したご本人の体調や様子等は、福祉部長への電話連絡で集約することとし、会えない間も地域の様子を共有するよう努めました。

7月からは訪問での見守り活動を再開しましたが、久しぶりに顔を合わせた際に急激な健康や生活の変化等が見受けられなかったのは、会えない期間も間接的なつながりを保ち続けられた成果と感します。今年度は町内会行事もほぼ中止の状況ですが、月に1回の役員会は必ず設けるようにし、密な情報共有を大切にしています。

会館を使用しているふれあい・いきいきサロンも感染予防に留意しながら少しずつ再開し、住民の活気が戻りつつあります。健康づくりと居場所づくりのため、そしてここに来ると人に会えるという喜びと安心を感じられる機会となるよう、今後も状況を鑑みながら住民が集える企画の実施を検討していきたいです。



▲再開したサロン活動での卓球の様子

### ◆こんな時こそ、心は近くに

物理的な距離は取らざるを得ない状況でも、手を気に掛ける温かな想いや、これまで築いたつながりを保ち続け、こんな時こそ心の距離は近くにありたい。そんな前向きな気持ちで今できることを一歩ずつ積み重ねていくことが、現状を乗り越える力になります。

地域一丸となって前を向くことができるよう、今後も登別社協では地域の活動支援を目指します。

Pick UP

# 2019年度きずな活動の評価を行いました

第3期4年目にあたる2019年度の活動評価を、各小学校区のきずな推進委員会において感染症予防に留意しながら行いました。

## ●全市きずな計画の評価

これまで取り組んできた活動がより拡充され、地域での支え合い体制がますます強くなっています。地域の見守り活動で着用するビブスを登別ライオンズクラブとの協働製作・配付したほか、作業委員会を設け登別社協創設60周年記念PR媒体を作成するなど、多くの団体等と共に地域福祉活動の推進を図りました。

## ●登別小学校区の評価

買い物に不便を抱える高齢者を支えることを目指し、校区内の社会福祉法人や商店会も交え、買い物支援モデル事業実施に向け協議を重ねました。

特に交通の不便な登別温泉地区に住む高齢者を対象に行ったニーズ調査の結果を踏まえ、今後事業実施に向け具体的な検討を進めていきます。

## ●幌別東小学校区の評価

単位町内会、地区連合町内会においてこれまで築いてきたつながりや支え合い体制をもとに活動を実施しました。

今後もきずな活動の大切さを地域に発信し続けると共に、特にきずな安心キット配付後の要支援者へのフォローアップを強化していきます。

## ●幌別小学校区の評価

見守り活動や防犯・防災活動について、校区内のそれぞれの地域が自主的に学び、地域福祉の意義を高めた1年でした。

福祉活動の進め方を共有することも大切ですが、同じ地域に暮らす住民同士で福祉活動の大切さ等の想いを今後も共有していく必要があると感じます。

## ●幌別西小学校区の評価

子ども達とのつながりづくりに取り組み、北海道登別明日中等教育学校の生徒との意見交換や、幌別西小学校・西陵中学校とも協力した避難訓練を行いました。

今後より多くの地域の声を聞きながら、1つの取り組みを大切に活動していきます。

## ●青葉小学校区の評価

校区内での小地域ネットワーク活動普及率は90・9%に上がり、今後は対象者や内容を見極めながら、より充実した活動を目指していきます。

また、他の福祉サービス等も活用しながら、高齢者がより安心して暮らすことができるようサポートしていく必要があると感じます。

## ●富岸小学校区の評価

防災訓練を通して、各年代のつながりづくりや要支援者の見える化を図り、関係機関と連携しな

がら活動を進めてきました。

既存の活動を継続しつつ、今後も各町内会や民生委員・児童委員と共に校区内の活動の充実を図ります。

## ●若草小学校区の評価

住民同士のつながりを大切にしながら子どもの見守り活動等を実施し、防災活動にも取り組みました。

近隣同士の支え合いで高齢者へのゴミ出しの手伝い等も行われており、今後も地域のつながりが深まるよう活動していきます。

## ●鷺別小学校区の評価

地域包括支援センターからの情報提供を踏まえ、地域の高齢者が抱える課題を解決するため、新しい生活支援・買物支援のモデル事業実施に向け検討を進めた1年でした。

また、恵愛病院との連携のもと、鍵預かりサービス事業を開始することができました。

きずな推進委員会では、  
評価内容をもとに今後も  
より良い地域活動を  
進めていきます。



# 歳末たすけあい募金にご協力ください

運動期間 12月1日～12月31日まで

目標額 550万円

赤い羽根サポーター宣言  
私たちは、赤い羽根共同募金を応援しています！

今年も「はまわしの会」の皆さんが育てた観葉植物（コリウス）を寄付金付き商品として無償提供いただきました。この取り組みは例年ふれあいフェスティバルのブースにて行っていましたが、今年度は事業中止となったことを受け、コープさっぽろしがイースト店様、ホームストア幌別店様のご協力のもと店頭で1日ずつブースを設置し、100円以上の募金で鉢を進呈する募金活動を行いました。ご協力いただいた皆さま、ありがとうございました！

## 歳末たすけあい募金運動とは？

毎年12月に共同募金運動の一環として、地域住民やボランティア、民生委員・児童委員、社会福祉施設、社会福祉協議会等の関係機関・団体の協力のもと、新たな年を迎える時期に、支援を必要としている人達が安心して暮らすことができよう、様々な福祉活動を重点的に展開する運動です。

お寄せいただく募金は、すべて登別の福祉活動に活用されます。

## 募金になぜ目標額があるの？

共同募金は、社会福祉法という法律に位置付けられた民間の募金活動であり、事前に使いみちや集める目標額を定めています。

地域福祉活動を充実させるために必要な計画を立て、目標額を公表することが法律で義務付けられている全国的な募金運動です。

〈来年度のこのような事業を支援するために募金活動を行います〉

### ◆歳末見舞金贈呈事業

経済的支援が必要な世帯等へ見舞金を贈るために。

### ◆ふれあい食会事業

高齢者や障がいのある方と地域のつながりを深めるために。

### ◆きずなのまちづくり助成事業

市民団体等が行う福祉活動を応援するために。

### ◆ふれあい・いきいきサロン事業

高齢者等の生きがいと居場所づくりを進めるために。

### ◆小地域ネットワーク活動推進事業

町内会による見守り・支え合い活動を広げるために。

### ◆地域の支えあいづくり創出事業

地域福祉の拠点づくりに対する支援を行うために。

### ◆地域福祉推進運営事業

さまざまな活動の推進や、地域福祉事業を推進するために。

### ◆在宅介護支援事業

制度を利用できない人へ車いすや福祉用具の貸出を行うために。

## 募金の方法

町内会のご協力のもと、各世帯に歳末たすけあい募金の回覧と、募金用封筒を配布しご協力の呼びかけを行います。11月中旬以降にご案内いたしますので、皆さんのご協力をお願いいたします。



# 赤い羽根でつながる 優しさの輪



「じぶんの町を良くするしくみ」を  
応援しませんか

共同募金運動は、住み慣れた地域で暮らしていく中で生じる困りごとに対して、地域の皆さんで支え合って乗り越えていくために必要となる仕組みづくり等、「じぶんの町を良くするための活動」にかかる費用を支援するため、募金活動への参加や寄付を通じて地元地域づくりを応援していく民間の運動です。

市内で寄せられる赤い羽根共同募金の約7割は、見守り活動やサロン活動、買い物支援の取り組み等、翌年に登別で行われる地域福祉活動を応援するために活用され、残る3割は災害時対応や福祉車両への助成等、全道的な支援に活用されます。

今年新型コロナウイルス感染症の影響により多くの行事や活動が中止・延期となっていますが、これからは新しい形で「人と人とのつながり」をより一層育み、互いに助け合っていく必要があります。今後の地域福祉活動はこれまで以上に重要であり、共同募金は財政面で活動を支援していくという大きな役割を担います。

応援の方法もたくさんあります。一人ひとりができる力たちと一緒に地域のこれからを想い、優しさの輪を広げてみませんか。



## ◆赤い羽根の着用で応援!

赤い羽根を着用することで、共同募金運動のPRに繋がります。登別市や市議会、教育委員会の皆さんにも毎年赤い羽根を着用していただき、来庁者の方へPRを行っていたいただいています。

## ◆ポスター掲示でPR!

施設・企業・事業所・商店等にポスターやのぼり旗の広報掲示をする取り組みです。共同募金運動を広く市民に広報啓発するために、ポスター1枚から始められる協力のカタチです。



## ◆募金型自動販売機でPR!

商品の購入代金の一部が募金となるしくみです。現在、登別市内では3か所に設置されています。

### 【設置企業・団体】

- ・ホテルゆもと登別
- ・フロンティア登別
- ・登別市社会福祉協議会

## ◆赤い羽根サポーターグッズのご紹介

赤い羽根共同募金を応援するため、道内スポーツチーム等が赤い羽根サポーターとして、共同募金グッズの製作にご協力いただいています。本会事務所（しんた21内）で一定額以上の募金をされた方に進呈しておりますので、ぜひお立ち寄りください。

### 缶バッジ

～200円以上の募金で1枚進呈～  
(一部500円以上)

- ・北海道日本ハムファイターズ  
選手・マスコット……全15種
- ・北海道コンサドーレ札幌  
選手・マスコット……全5種
- ・バンドリ！ ガールズバンド  
パーティー！  
キャラクター……全7種



©BDP ©CraftEgg ©BUSHI

### クリアファイル

～300円以上の募金で1枚進呈～

- ・北海道日本ハムファイターズ
- ・北海道コンサドーレ札幌
- ・初音ミク（全3種）
- ・劇場版「鬼滅の刃」無限列車編
- ・バンドリ！ ガールズバンド  
パーティー！



©KG/S, A, U

### お問合せ先

登別市共同募金委員会

電話.. 8810860 FAX.. 8814546

## チャリティードライブイン シアターを開催しました

8月8日、登別伊達時代村駐車場を会場に「チャリティードライブインシアター」を開催しました。

この取り組みは、新型コロナウイルス感染症の影響により市内イベントの中止が続き、楽しみの機会が減ってしまった子ども達を笑顔にしようと、市内の有志により小・中学生がいる世帯を対象に企画されました。登別社協においても毎年行っている「ふれあいフェスティバル」の中止や、事業の趣旨に賛同したことから共催事業として実施しました。

特設の大型スクリーンに投影される映像と、カーラジオから流れる音声により車内で楽しむ映画鑑賞として、北海道内を拠点に活動する団体「あしたのしあたあ」の協力により実現に至りました。

当日は開場前から長蛇の車の列ができ、企業からの協賛として提供いただいた景品が当たる大抽選会等も行われ、来場した180組の家族が車の中で楽しい一夜を過ごしました。



▲文部科学省選定作品  
「若おかみは小学生！」を上映しました

参加した親子からは「すごい迫力と臨場感で楽しかった」等の声が寄せられました。



## 生活福祉資金特例貸付 期間が延長になりました

新型コロナウイルス感染症の影響による給与の減少や休業、失業状態等のため生活にお困りの世帯を支援する生活福祉資金特例貸付（表2種類）の期間が、12月末日まで延長となりました。

減収等で生活にお困りの方は、まずはお電話にてご相談ください。担当の相談員が生活状況をお伺いしながら、総合的な相談に応じます。

なお、三密防止のため来所によるご相談や申し込み手続きは予約制となっておりますので、事前にお電話にてご確認をお願いいたします。

### 〈特例貸付の概要〉

項目	① 緊急小口資金	② 総合支援資金
対象	休業等による収入減少があり、緊急かつ一時的な生計維持のための貸付が必要な世帯	収入の減少や失業等により生活に困窮し、日常生活の維持が困難となっている世帯
貸付限度額	20万円まで (世帯数、生活状況による)	単身世帯：月15万円 2人以上：月20万円
貸付に要する期間	1週間程度	1ヶ月程度
貸付回数	1回	3ヶ月分
据置期間	貸付日から1年以内	
償還期間 (据置期間終了後)	2年以内	10年以内
利子	無利子	

※償還時なお所得減少が続く住民税非課税世帯等は、償還免除とできることとしています。

### お問合せ先

生活あんしんサポートセンター（登別社協内）

電話：8317379

### 寄付者のご紹介（2020年8月1日～2020年9月30日）

（敬称略／単位：円）

受領年月日	寄付者名	寄付金額	寄付の目的
2020.09.11	匿名	1,020	会議での費用弁償を社会福祉のために

### 愛の小箱等設置協力者のご紹介（2020年8月1日～2020年9月30日）

（敬称略／単位：円）

受領年月日	設置協力者名	寄付金額	種別
2020.08.05	いずみ亭	25,140	愛の小箱
2020.08.13	ふれあいの店	800	ハンドメイドガチャ
2020.08.26	登別中央ショッピングセンターアーニス	1,620	ガチャガチャ

上記期間にお届けいただいた団体等のみ掲載しています。

## 地域拠点丸ごと支え合い事業実施中

幌別東小学校区、幌別小学校区、幌別西小学校区で実施している高齢者等の居場所づくりと買い物支援を一体的に行う「地域拠点丸ごと支え合い事業」では、参加者全員が感染症対策を行いながら、介護予防体操やおしゃべり、買い物で交流を楽しんでいます。

活動時間を1時間程度に短縮したほか、マスクの着用やこまめなアルコール消毒の徹底、座席距離の確保、食事会の中止等、これまでの活動と同じように実施することは難しい状況ですが、拠点である「あえるSTATION」には変わらない明るい声が溢れています。

### 運転スタッフ募集！

送迎車（ミニバン）の運転と買い物付き添い（主に購入品の運搬）を行う70歳以下（性別不問）のボランティアを募集しています。

### 【活動日時】

毎月第1〜4火曜日、金曜日

いずれも9時30分から13時まで

（シフト制／月1回の活動でも構いません）

### 【その他】

1回の活動につき、アーニスで使用できる500円相当のサービスチケットと交換できるポイントを付与します。

ご興味のある方や見学を希望される方は、ぜひ登別社協までお問い合わせください。事業の詳細や活動の様子は、本会ホームページからご覧いただけます。



## まちびとのまぢびと

このコーナーでは、地域で精力的に活動されている方のきずな活動に対する想いや、これからの活動の展望などをお伝えします。

今回は、地域拠点丸ごと支え合い事業ボランティアスタッフの竹中 博和さんにお話を伺いました。

### 「これまでのつながりを活かしながら、また新たなつながりを」

地域拠点丸ごと支え合い事業ボランティアスタッフ

竹中 博和さん（幸町）



父が熱心に町内会活動に取り組む姿を見て育ち、20代の頃に町内会の会計を頼まれたことがきっかけで地域活動に関わり始めました。当時の仕事は多忙で、働く合間を縫って携わっていましたが、あまり負担に感じたことはありませんでした。

その後も町内会活動やPTA活動等に携わりながら、子育てがひと段落した時には、より地域の活動に取り組みたいとの想いがありました。それは、周りの人にこれまでお世話になったことへの感謝から自然と湧いた気持ちでした。数年前からはずららん団地町内会の会長を務めています。妻は民生委員・児童委員を担っているため、助言しながら活動しています。すべての地域活動に共通して大切だと考えるのは、人と人のつながりづくりです。社会情勢が

「まちびとには、登別のまちの人、問題と人をマッチングさせる人、布の長さを補うまちのように地域を補う人という意味が込められています」

不安定になった時、最後に残る要は皆が助け合う地域活動であるように思います。だからこそ、長く続けていくためにはできることから気軽に始め、無理はし過ぎないという緩やかな気持ちが大切だと考えています。まずは自分が率先して動き活動することで、まわりの協力も自然と得られるものではないでしょうか。

また、地域の中につながりが生まれていくと、困った時に助けると自ら声をあげてもらえるようになります。些細な変化に気付き、助け合うことのできる地域であることは、とても大切だと考えています。

社協の「地域拠点丸ごと支え合い事業」には、立ち上げ当初から運転のボランティアスタッフとして関わっています。自身の町内会では、バスの便数はあってもスーパーからは離れた立地のため、買い物に不便を抱える高齢者が多いこともあり、利用する方からは喜ばれています。このような取り組みを住民同士の助け合いの形で行えることは大変良いと感じますし、この先も継続することで価値が増していくものだと思います。以前の勤務の経験も大いに活かしながら、今後もこの事業や地域に貢献できればと考えています。

# ふくし活動アイデア帳 新シリーズ発行

新型コロナウイルス感染症の影響により、これまでの活動を同じように継続することが難しいとの地域からの声を受け、登別社協ときずな推進委員会で新しい生活様式に配慮した活動の形を紹介する「ふくし活動アイデア帳」を6月に発行し、福祉活動実践者に活用いただきました。

引き続き感染症のリスクと隣り合わせの日々が続く中、集いの場の再開や見守り活動時における感染予防のポイントを紹介する「感染予防編」と、距離を保ちながら楽しめる交流内容を紹介する「レクリエーション編」を新たに発行しました。

## 感染予防編



活動再開にあたり、感染予防対策の目安があればわかりやすいとの声を受け、「集いの場」と「見守り活動」の2つの活動によって使い分けられるよう作成しました。他の活動においても基本となる内容ですので、ぜひご活用ください。

### 《掲載内容（一部抜粋）》

- ・集まりを企画する際は1回あたりの参加人数を少なくし、実施時間は短く、実施回数は多くすることを検討する。
- ・当日の参加者を把握するため、名簿を作成する。
- ・複数名で訪問活動を行う場合は、訪問者間の距離も十分に保つ。



## レクリエーション編

集いの場の再開にあたり、新しい生活様式に配慮しつつどのように交流を楽しめばいいのかとの戸惑いの声を受け、市内のサロン活動で実際に取り入れられているレクリエーションのアイデアを取材し、これらの交流のヒントとして掲載しています。

### 《掲載内容（一部抜粋）》

- ・じゃがいもパークゴルフ
- ・ハエ叩きゲーム
- ・お手玉ポイントゲーム



これまで発行しているアイデア帳は、すべて本会ホームページから印刷いただける他、本会事務所でもご覧いただくことができます。今後の地域福祉活動にぜひお役立てください。



# 出前福祉講座を「活用ください」

「出前福祉講座」は、様々な学習テーマを通して身近な福祉について考える学びの場です。登別市ボランティアセンターでは、福祉豊かなまちづくりを目指し、ボランティア団体や関係機関等と協働しながら、講座に関わるすべての人が福祉について学び合うことができよう、企画から講師派遣・実施までご希望に合わせ調整します。

今年度は感染予防に留意した上で実施できる内容をご提案していますので、職場や団体での各種研修会等にぜひご活用ください。

### 【実施可能な講座内容の例】

- ・障がいのある方の暮らしを学ぼう
- ・認知症のある方の暮らしを学ぼう
- ・ボランティア活動の魅力を学ぼう
- ・赤い羽根共同募金の使い道を学ぼう



### 【小学校での講座のイメージ】

テーマ障がいのある方の暮らしを知り、お互い様の地域をつくるためには

4コマ目		3コマ目		2コマ目		1コマ目	授業所要時間	内容
30分	15分	10分	30分	10分	30分	30分		
・あいサポート研修	・あいサポート運動について	1日の振り返り	・児童が講座を通して感じたことや気付いたこと、自分にもできること等を共有	お話を聞いた感想や質問	・視力障がい当事者のお話とビデオ視聴 ・普段の暮らしの様子 ・自身の障がいについて ・趣味や特技について	・身体障がい当事者のお話とビデオ視聴 ・普段の暮らしの様子 ・自身の障がいについて ・趣味や特技について	オリエンテーション ・「ふくし」について ・登別市の現状について	

※講座の時間数はご希望に合わせて調整が可能です。  
※1コマ終わるごとに換気を行います。

出前福祉講座の最新パンフレットが完成しました。講師を務める障がい当事者の皆様のご紹介や、講座のモデル例等を掲載しています。本会ホームページのほか、本会事務所でもご覧いただくことができます。



**お問合せ先** 登別市ボランティアセンター（登別社協内）電話：88-2080